

次期「広島県 教育に関する大綱」構成イメージ（案）

教育に関する大綱

一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくり

【総論】 ◆本県教育の現状 ◆本県の育成すべき人材 ◆新たな取組にも果敢にチャレンジ
◆オール広島県で取り組む「日本一の教育県」の実現

◆就学前教育

【1】乳幼児期における質の高い教育・保育の推進

◆本県における質の高い教育・保育の推進

◆初等中等教育

【2】「主体的な学び」を促す教育活動の推進による、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆「基礎・基本」の徹底
◆初等中等教育段階における「主体的な学び」を促す教育活動
◆夢や希望の実現に向けたキャリア教育の充実

【3】一人一人の多様な個性・能力をさらに生かし、他者と協働しながら新たな価値を創造していくことができる力の育成

◆多様で厚みのある人材層の形成
◆「個別最適な学び」の推進
◆多様な価値観の受容
◆県立学校の体制整備
◆学校教育以外での取組

◆高等教育

【4】今後の社会経済環境の変化に対応できる高度な資質・能力を有する人材の育成

◆「新たな教育モデル」の実現
◆大学連携の推進

【5】教育上特別な配慮を必要とする児童生徒等への支援

◆「学びのセーフティネット」の充実
◆教育委員会と関係機関が連携した支援
◆障害のある幼児児童生徒への支援

◆学校教育等を支える環境

【6】教職員の力を最大限に発揮できる環境の整備

◆教職員一人一人の力を最大限に発揮できる環境の整備・働き方改革の推進
◆日本一の教員集団の形成

【7】安全・安心な教育環境の構築

◆学校における安全・安心の確保
◆充実した教育活動を行うための環境整備
◆家庭教育への支援
◆学校・家庭・地域が連携した教育の推進

【8】生涯にわたって学び続けるための環境づくり

◆生涯学習を進める環境づくり
◆スポーツ・文化に親しむ環境づくり
◆リカレント教育を進める環境づくり